

『特別警報』についてご存知ですか

気象庁は、平成25年8月30日から「特別警報」の運用を開始しました。「特別警報」は、「警報」の発表基準をはるかに超える数十年に一度の現象が起これると予想される場合に発表し、対象地域の住民の方々に対して最大限の警戒を呼びかけるものです。

特別警報が発表されたときは、経験したことのないような大雨や暴風など、異常な現象が起きる状況であるため、ただちにお住まいの市町村の避難情報に従うなど、適切な行動をとることが重要です。仮にこの数十年間、災害発生の経験がない地域でも油断は禁物です。

まずは決して慌てずに周囲の状況に注意し、お住まいの市町村から避難勧告などが発令されている場合には、ただちに従ってください。避難しようとしたときに、大雨や暴風のために屋外を移動することがかえって命に危険を及ぼす状況となっており、やむを得ず自宅などに留まる場合には、二階などのより安全な場所に退避するなど、命を守るため、最善を尽くしてください。既に避難を完了している場合も油断しないでください。

特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。大雨等においては、時間を追って段階的に発表される気象情報、注意報、警報を活用して、早め早めの行動をとることが大切です。

政府広報オンライン「特別警報」のホームページはこちらです。

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201307/4.html>

※お問合せ先（月～金曜日） 稚内地方気象台（電話：0162-23-2679）



地域おこし協力隊通信

vol.9

北海道には梅雨がないと言われてますが、雨の多い幌延の春、初夏を経験しています。問寒別での体験を2つほど紹介します。

食生活改善推薦協議会の「老人クラブ員、おひさま子育て会との交流お食事会」では、カレー作り、おもちの餡包みなど、料理のお手伝いをした後、問寒別の皆さんと食事とゲームで楽しい時間を過ごしました。そのとき、手作りパンもいただきました。そのパンは、なんと自分の畑で育てた麦から作った自家製小麦粉だ、と聞いてびっくり！安心・安全な食べ物へのこだわり、“ないものは自分で作る”という意気込みには感激しました。

ワラベンチャー問寒別クラブが主催した「これが私の森！」というイベント。これは、北大研究林の森を観察し、気になるものを発見して写真に撮り、自分の森を表現するもの。北大の方による森の中の草木の説明を受けました。人が植林したわけではないのに木が一行に並んでいるのは、倒れた木から新たに出た芽が成長したため。たこの木と呼ばれる木ができたのは、もとは根の部分の土がなくなり地上に出てきたためなど、森の中の不思議に気づくことができ、またひとつ賢くなりました。

メインイベントは2つあり、1つは、与えられたテーマに沿った物を探してデジタルカメラで撮影すること。もう1つは、それとは別に気になるものを持ち帰り、“私の森”を写真で表現すること。こちらは、持ち帰ったものを暗室で印画紙上に並べ、光を当てて写真を作る、というアナログ写真の原理を学ぶ貴重な体験ができました。昔、会社の暗室で同じようなことをしたなと思い出しました。



「たこの木」



「どうしてこうなるの？」



「これが私の森！」たち

このイベントは、森のことを知るという受け身の学びだけでなく、気になるものを見つけ印画紙写真にするという、自分で考えて行動して表現するという、創造力を養う場も組み込まれているイベントでした。

「考えて創る」ということは地方創生にも通じるものなので、このことをベースにこれからも活動していこうと考えています。

（地域おこし協力隊員 丸田 耕作）

▼町ホームページ：協力隊コーナー「Base Town」／▼協力隊Facebook(URL：<https://www.facebook.com/horo.okoshitai/>)